

# 参院北海道選挙区候補は 森つねと氏

## いわぶち友比例候補といっしょに 戦争国家への道ストップに全力

日本共産党北海道委員会は来年の参院選北海道選挙区候補に森つねと党道国政相談室長（37）を決め、5日に記者発表しました。森氏は「しんぶん赤旗」記者をへて2012年の総選挙、13年の参院選挙、今年の道議選に立候補しています。

道庁で記者会見した森氏は「戦争法案を葬り去り、海外で戦争する国づくりをやめさせるために立候補を決意しました」と述べ、「安倍政権の暴走ストップには日本共産党の躍進が一番の力です」と力を込めました。

参議院選挙の比例代表には、北海道と東北を活動地域とする、いわぶち友氏（38）の立候補が決定しており、全国850万票の獲得目標達成に決意を新たにしています。



参院選立候補の決意を語る森つねと氏＝6月5日、北海道庁

## 運休つづくJR日高線—開通はやく 候補発表後ただちに森氏が道議団と現地調査



JR日高線の災害現場でJR北海道の担当者（左）に説明を求める森氏と党道議団＝6月8日

### 森つねと氏の略歴

1978年札幌市白石区生まれ。北海道東海大学国際文化学部卒。「しんぶん赤旗」記者。現在、党道国政相談室長、道委員。

森つねと参院道選挙区候補は8日、運休が続いているJR日高線の災害現場を党道議団とともに調査しました。JR日高線厚賀—大狩部（おおかりべ）間では1月7日の暴風雨によって、線路下の護岸下部が損壊する被害が発生しました。同区間を含む様似駅—鶴川駅間は不通のままで、現在は代行バスが運行しています。

JR北海道は応急の対策でも「26億円が必要」としており、国や沿線自治体に費用の支出を求めて、復旧工事に着手していません。

森候補らはJR北海道の案内で、大狩部駅から約4キロの災害現場を調査し、担当者に状況の説明を求めました。森氏は「このまま廃線にはいけない。国は道とともに協議を進め、JR北海道が公共輸送の責任を果たすよう対策を急ぐべきだ」と述べました。

現地調査には真下紀子、菊地葉子、宮川潤の各道議が参加しました。